

# 東京湾海況情報 R06-1

## 東京湾水質調査結果（令和6年4月）

（令和6年4月19日発行）

千葉県水産総合研究センター

東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保3091

TEL 0439-65-3071

E-mail futtsusokuh@pref.chiba.lg.jp

千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 4/8 ふさみ丸（内房の一部）、4/11 ふさなみ（内湾、内房の一部）、関東・東海海況速報

4月8日、11日にふさみ丸、ふさなみで行った東京湾水質調査結果をお知らせします。

※内湾と内房の一部の海域の調査日が3日間空いたため、分布図を海域ごとに作成しています。

### 【水温・塩分】

表層水温は、内湾で13~15°C、内房海域で15~18°Cでした。表層塩分は、内湾で25~33、内房海域で32~34でした。内湾中央部（St.6）付近まで、底層に沖合水（高水温・高塩分）の進入がみられました（図1~3）。

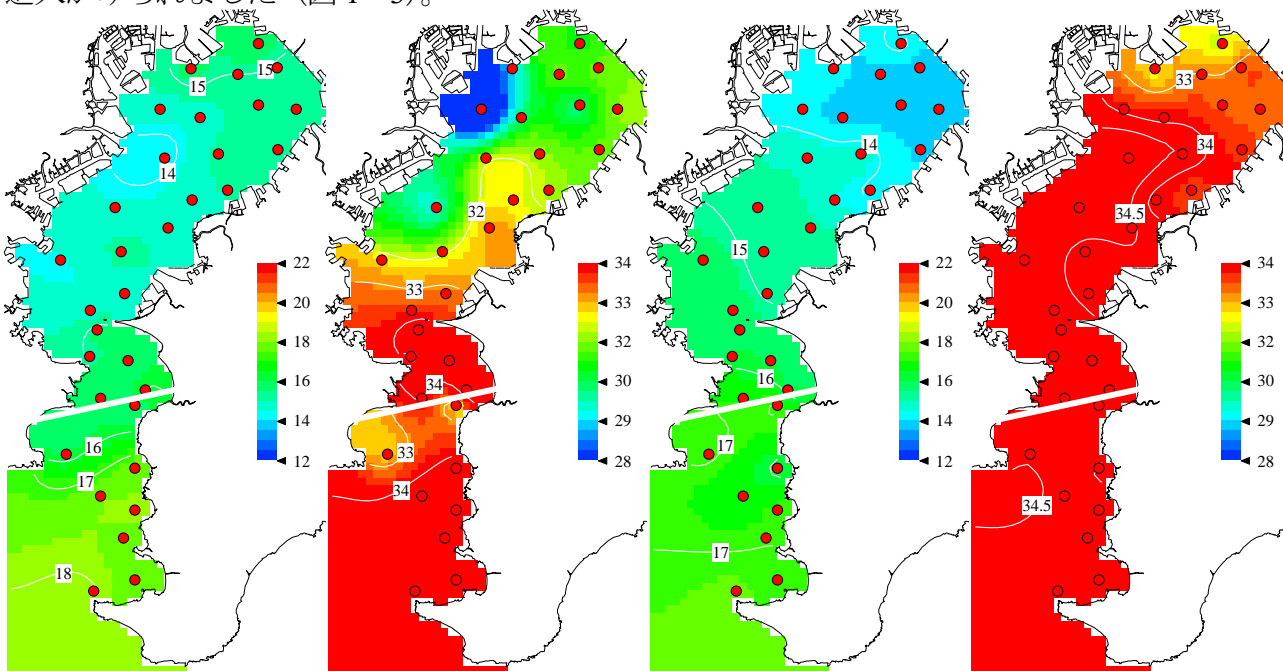
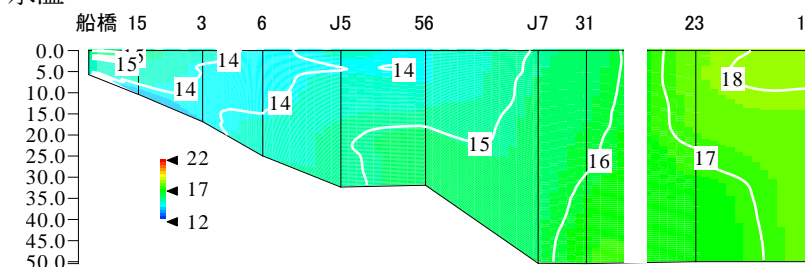


図1 表層の水温・塩分

図2 底層の水温・塩分

### 水温



### 塩分

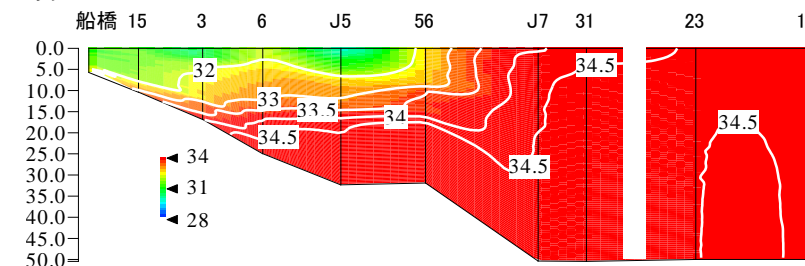


図3 縦断面の水温・塩分

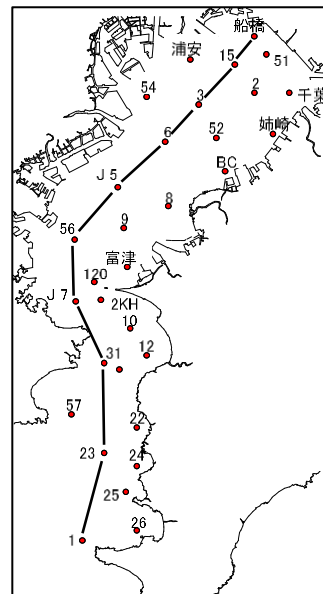


図4 水質調査点  
（実線は調査ライン）

### 【赤潮】

透明度は、内湾で 1.5~4.0 m, 内房海域で 4.0~16.0m でした (図 5)。植物プランクトンの指標となるクロロフィル a 濃度は、内湾で 5  $\mu\text{g/L}$  以下~14 $\mu\text{g/L}$ , 内房海域で 5  $\mu\text{g/L}$  以下~7 $\mu\text{g/L}$  でした (図 6)。赤潮はみられず、プランクトンの優占種は渦鞭毛藻ヘテロカプサ属, 珪藻スケレトネマ属 でした。

#### 千葉県の赤潮の目安

色	オリーブ~褐色
酸素飽和度	150% 以上
透明度	1.5m 以下
pH	8.5 以上
クロロフィル a	50 $\mu\text{g/L}$ 以上

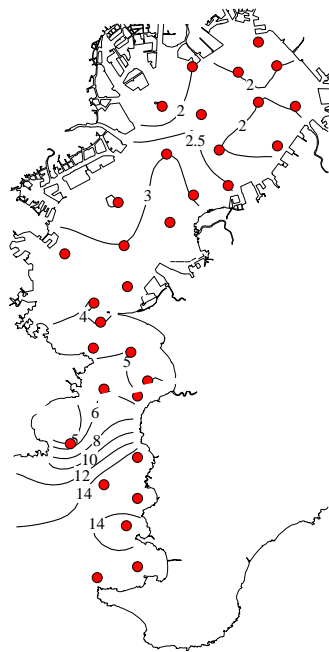


図 5 透明度

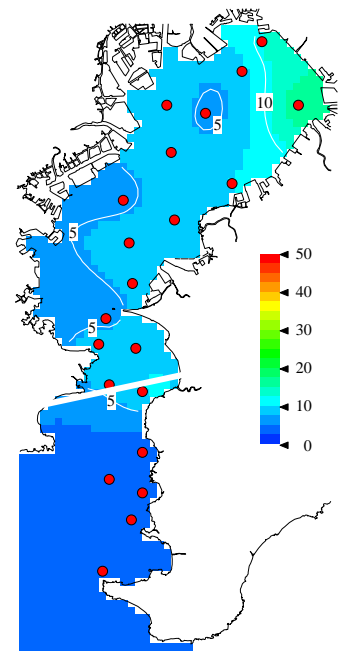


図 6 クロロフィル a 濃度

### 【貧酸素水塊】

貧酸素水塊はみられませんでした (図 7, 8)。

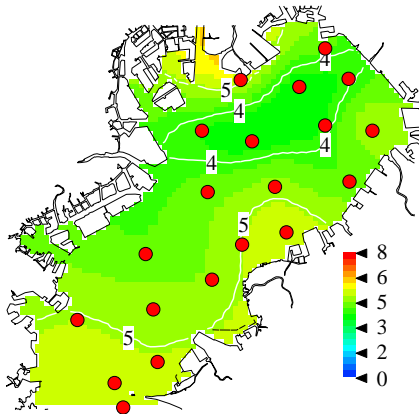


図 7 内湾底層の溶存酸素量 (ml/L)

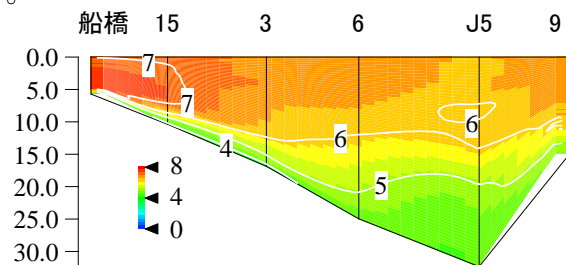


図 8 内湾縦断面の溶存酸素量 (ml/L)

#### 貧酸素水の基準

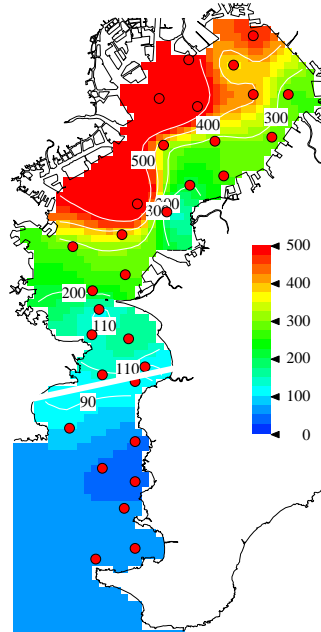
溶存酸素量	2.5 ml/L 以下
酸素飽和度	50% 以下

### 【栄養塩】

表層の窒素 (DIN) は、内湾で 155~825  $\mu\text{g/L}$ , 内房海域で 20~161  $\mu\text{g/L}$  でした。表層のリン (DIP) は、内湾で 5  $\mu\text{g/L}$  以下~23  $\mu\text{g/L}$ , 内房海域で 5  $\mu\text{g/L}$  以下~11  $\mu\text{g/L}$  でした (図 9)。

内湾の千葉県側でリンが少なくなっており、内房海域では、窒素、リンともに少なくなっていました (表 1)。

DIN



DIP

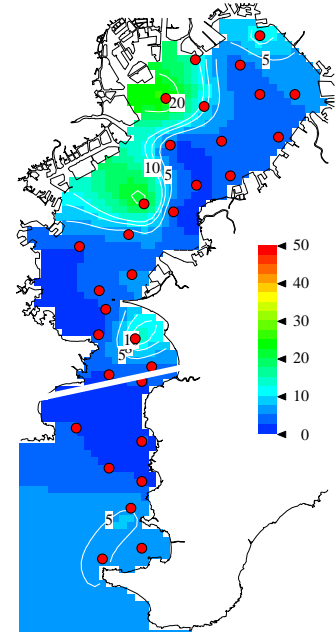


図 9 表層の栄養塩濃度 ( $\mu\text{g/L}$ )

【黒潮】

黒潮は A 型流路でした。黒潮は、三宅島の南で大きく蛇行しながら房総沖を北東へ流れており、黒潮から房総沿岸への暖水波及は一時的に弱まっていた（図 10）。

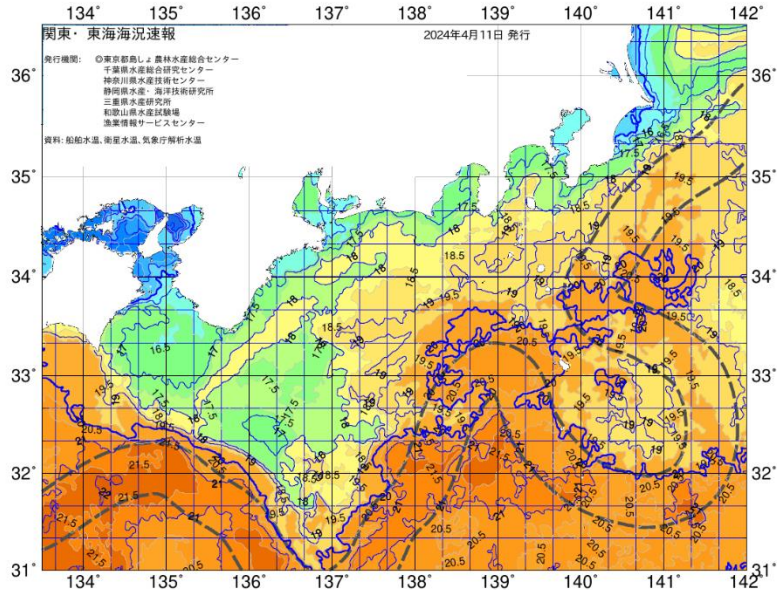


図 10 黒潮の動き（令和 6 年 4 月 11 日）

表1 主な調査点の水質調査結果(表層, 溶存酸素量のみ底層)  
( ):最近10年間の平均値(2014~2023年)

調査点	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存酸素量 (ml/L)	アンモニア態窒素 (μg/L)	溶存無機態窒素 (μg/L)	リン酸態リン (μg/L)	クロロフィルa (μg/L)	
内湾	船橋	15.4 (14.2)	30.7 (30.69)	1.5 (3.1)	8.7 (8.4)	4.5 (5.5)	29 (76)	476 (391)	9 (16)	10.6
	st.15	15.0 (14.1)	31.3 (30.4)	2.0 (3.0)	8.7 (8.4)	3.9 (4.9)	22 (22.3)	357 (351.4)	1 (3.1)	6.6
	st.3	14.3 (13.9)	30.2 (30.7)	2.5 (3.4)	8.7 (8.4)	3.4 (4.6)	73 (28)	563 (359)	9 (2)	4.4
	st.6	13.9 (13.8)	31.9 (31.1)	3.0 (3.7)	8.7 (8.4)	4.3 (4.7)	33 (30)	334 (336)	1 (3)	6.4
	st.9	14.8 (14.2)	31.8 (31.7)	3.0 (4.1)	8.7 (8.4)	4.7 (5.4)	40 (22)	382 (276)	4 (4)	7.1
	st.BC (盤洲Cブイ)	14.7 (14.4)	31.7 (31.4)	2.5 (3.8)	8.8 (8.4)	5.3 (5.6)	10 (10)	266 (305)	1 (7)	8.0
	st.8 (盤洲A南)	14.3 (14.1)	32.9 (31.9)	3.5 (3.9)	8.7 (8.4)	4.6 (5.2)	14 (29)	155 (277)	1 (5)	6.9
	富津	14.3 (14.4)	33.2 (32.4)	3.5 (3.8)	8.5 (8.3)	5.0 (5.5)	70 (41)	262 (253)	3 (6)	6.2
内房海域	st.2KH (第2海ほ下)	15.3 (14.3)	34.5 (32.8)	4.0 (4.6)	8.5 (8.3)	5.3 (5.9)	23 (18)	99 (195)	0 (6)	3.8
	st.31	15.4 (14.4)	34.0 (32.8)	6.0 (5.5)	8.6 (8.3)	5.1 (5.6)	9 (7)	107 (186)	0 (4)	5.8
	st.23	17.7 (16.3)	34.6 (34.3)	15.5 (12.6)	/	5.6 (5.7)	0 (4)	20 (55)	0 (5)	0.6
	st.1	18.1 (16.7)	34.6 (34.6)	16.0 (14.5)	/	5.9 (6.2)	17 (7)	44 (52)	5 (5)	0.5
	st.10 (下洲沖)	15.3 (14.6)	34.3 (33.1)	5.0 (5.4)	8.6 (8.3)	5.6 (6.0)	18 (20)	161 (166)	12 (6)	7.1
	st.12 (湊沖)	16.0 (14.7)	34.5 (33.2)	4.0 (5.5)	8.6 (8.3)	5.5 (6.2)	3 (9)	85 (119)	1 (3)	/
	st.22 (保田沖)	17.7 (16.2)	34.4 (34.3)	15.5 (12.3)	/	5.9 (6.1)	1 (7)	22 (56)	0 (6)	1.2
	st.24 (富山沖)	17.9 (16.2)	34.6 (31.0)	16.0 (12.5)	/	5.8 (6.1)	1 (6)	23 (43)	0 (5)	0.4
st.26 (館山湾内)	17.6 (16.5)	34.5 (34.3)	15.5 (12.1)	/	5.9 (6.1)	3 (6)	28 (40)	4 (4)	/	

注) ※ 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示します。